

使用済み商用車架装物 解体マニュアル
株式会社 加藤製作所 共通編

1. 本解体マニュアルでは、当社で製造する商用車架装物の解体に関する共通的な事項を掲載しています。各機種毎の解体マニュアルと併せてご覧ください。
2. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。

内 容

1. 目的
2. 作業上の注意
3. 事前選別対象部品
4. 環境負荷物質の取り扱い
5. FRP、断熱材、木材の解体後処理
6. 機種別解体マニュアル
7. お問い合わせ窓口

株式会社 加藤製作所

本マニュアルは、株式会社加藤製作所にて製造する商用車架装物の解体に関して、「適正で効率的な作業」や「責任ある使用済み架装物処理方法」をご案内し、使用済み商用車架装物処理の各段階で適正且つ安全に処理するための手順をまとめたものです。

1. 目的

解体した商用車架装物の資源としての有効活用を効率的に行える情報を提供するものです。

2. 作業上の注意

- 1) 安全な作業を行うにあたって、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用してください。
- 2) 高所作業については、安全帯、足場の確保等転落防止処置を講じて行ってください。
- 3) 燃料系の除去・回収に当たっては消防法を厳守し、引火・爆発が発生しない環境下および方法で行ってください。
- 4) 油脂・液材系の回収にあつては、地下浸透や施設外流出が発生しない環境下及び方法で行い関連法規を厳守してください。
- 5) タンク等の解体時は有害物質等の除去・洗浄を完全に行い、安全を確保した上で作業してください。

3. 事前選別対象部品

事前選別とは使用済み商用車架装物等に含まれる有害物質および埋立が禁止されている部品・材料等、ならびにそれらを含む部品を破碎処理する前工程で選別し、適正に保管、処分する作業をいいます。

事前選別対象部品は【別表1.】を参照願います。

4. 環境負荷物質の取り扱い

- 1) 環境負荷物質を含む部品等については、確実に分離し適正な処理に努めてください。
- 2) 環境負荷物質使用部品例
【別表2.】を参照願います。

5. FRP、断熱材、木材の解体後処理については、社団法人 日本自動車車体工業会の「処理協力事業者一覧表」を参照し、適正に処理してください。

6. 具体的な解体手順につきましては、各機種 of 解体マニュアルを参照願います。 また、解体マニュアルのない機種につきましては、下記にお問合せ願います。

7. 使用済み商用車架装物解体マニュアルに関する お問合わせ窓口 株式会社 加藤製作所 設計第三部 TEL:03-3458-1111

【別表1.】使用済み商用車架装物の事前選別対象物の選定（1/2）
使用済み商用車架装物の事前選別対象物の除去、保管および処分方法

処理品目	危険区分	産業廃棄物区分	I. 代表的な除去方法例	II. 工場内保管方法例	III. 処分方法例
ガソリン (不純物の混入しないか 確認要)	第一石油類 (引火点 21 °C 未満)	該当せず (有価物として再利用)	ドレンプラグ部から抜き取る、 バキューム吸引、または、タンクに穴を開けて抜き取る	消 防 法 指 定 数 量 内 で ドラム缶等に保管	自家燃料として使用
軽油 (不純物の混入しないか 確認要)	第二石油類 (引火点 21 ~ 70 °C)	該当せず (有価物として再利用)	ドレンプラグ部から抜き取る、 バキューム吸引、または、タンクに穴を開けて抜き取る	消 防 法 指 定 数 量 内 で ドラム缶等に保管	自家燃料として使用
LPG	燃料用液化石油ガス容器 (高圧ガス保安法)	該当せず (III. 処分方法 参照)	車両からボンベごと外す	残ガスの有無で保管場所を 分ける	「液化石油ガス容器くず化設備基準」に基づき設備 を有する専門業者に委託 廃油処理業者に委託
廃油 (エンジン油、作動油)	第四石油類 (引火点 200 °C 以上)	廃油	ドレンプラグ部から抜き取る バキューム吸引等	消 防 法 指 定 数 量 内 で ドラム缶等に保管	廃油処理業者に委託
廃油 (ブレーキフルード)	第三石油類 (引火点 70 ~ 200 °C)	廃油	リザーバタンクからバキューム 吸引等 ホースカッター等	消 防 法 指 定 数 量 内 で ドラム缶等に保管 (他液剤とは混ぜない)	廃油処理業者に委託
LLC (冷却水)	希釈液は適用外 (原液 40% 越すとアルコール類)	廃油	ドレンプラグ部から抜き取る ホースカッター等	消 防 法 指 定 数 量 内 で (他液剤とは混ぜない)	廃油処理業者に委託 または再生処理装置で再生処理
フロンガス	該当せず	該当せず	専用回収装置で抜き取る	専用ボンベに保管	自動車工業会または各自自治体のフロン回収システ ムでの回収・処理ルートに委託 専門業者に委託
消火器	該当せず	該当せず	車両から取り出す	所定パレット内に保管	専門業者に委託
アキュームレータ	高圧ガス保安法 (1MPa 以上)	金属くず、廃プラスチック 類	タンク内の液体や窒素ガスを大 気放出	所定パレット内に保管	産業廃棄物処理業者に委託
バッテリー	該当せず	該当せず	車両から取り出す	雨水のかからない場所で 保管	蓄電池工業会のリサイクルシステムでの回収・処理 ルートに委託
銅製ラジエーター (はんだ部に鉛含有)	該当せず	金属くず	車両から取り出す	雨水のかからない場所で 保管	金属回収専門業者に委託
バッテリーケーブル端子 (鉛製端子)	該当せず	金属くず	車両から取り出す	雨水のかからない場所で 保管	金属回収専門業者に委託

【別表 1.】 使用済み商用車架装物の事前選別対象物の選定（2 / 2）
 使用済み商用車架装物の事前選別対象物の除去、保管および処分方法

処理品目	危険区分	産業廃棄物区分	1. 代表的な除去方法	II. 工場内保管方法例	III. 処分方法例
鉛製バッテリー	該当せず	金属くず	タイヤから取り出す	雨水のかからない場所で保管	金属回収専門業者に委託
蛍光灯・水銀灯 (水銀を含有)	該当せず	金属くず、ガラスくずおよび陶磁器くず	車両から取り出す	密閉容器に保管	専門業者に委託
ガスタブリング	該当せず	該当せず	車両から取り出す	所定パレット内に保管	製造メーカーの指示に基づき処理
タイヤ	該当せず	廃プラスチック	車両から取り出す	所定パレット内に保管	タイヤ回収専門業者に委託
樹脂 (バンパー等) 部品、 ガラス部品	該当せず	廃プラスチック ガラスくずおよび陶磁器くず	車両から取り出す	所定パレット内に保管	シュレッダー業者または専門回収会社に処理委託

【別表 2.】 環境負荷物質含有事例

物質	部材/材料	部品の具体例	
鉛	アルミニウム (加工性等向上のため添加)	ブレーキ部品、ホイール・リム、ウインドウレバー	
	銅合金	パイプ継ぎ手、軸受け (ブッシュ)、ベアリング、把手、扉金具 スラストプレート (油圧ポンプ等)	
	はんだ	はんだ使用部品全般 (プリント基盤、電球端子、温度ヒューズ等)	
	バランクスウェイト	バランクスウェイト	
	ホース金具	油圧ホース金具	
	部品の封印部分	ダンプトラック自重計封印、油圧リリーフバルブ部封印 じん芥車アイドアルアップ装置部封印	
	温度ヒューズ	タンクローリの温度ヒューズ弁	
	六価クロム	防錆コーティング (シリンドラッドのクロムメッキは対象外)	ブレーキパイプ、ボルト・ナット・ワッシヤ、ピン・シヤフト、 ホース金具、接手
	水銀	カラー鋼板、カラーアルミ板	バンボデー外板
		電球および計器盤表示	放電管型電球 (HID)、キセノンヘッドランプ、蛍光灯 メータ用バックライト
		カーナビディスプレイ用バックライト	
		エアコンのコイルレジスタンス	
カドミウム	電装品	スイッチ、リレー、アクチュエータ等の接点	
	温度ヒューズ	タンクローリの温度ヒューズ弁	

使用済み商用車架装物 解体マニュアル 清掃車（吸引車）

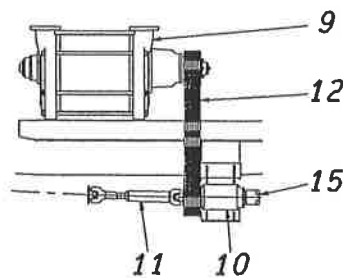
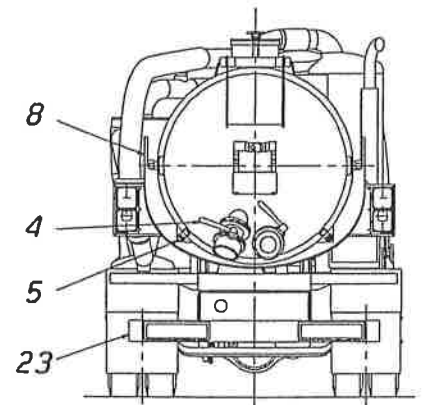
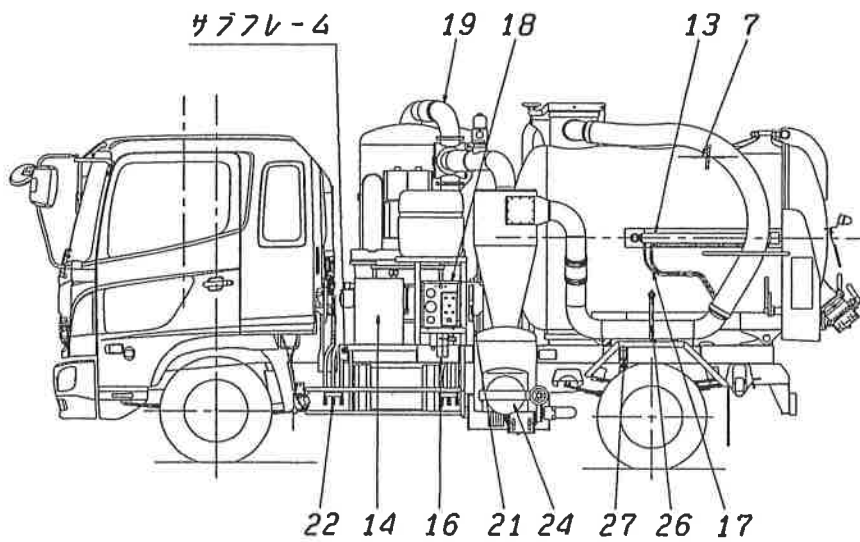
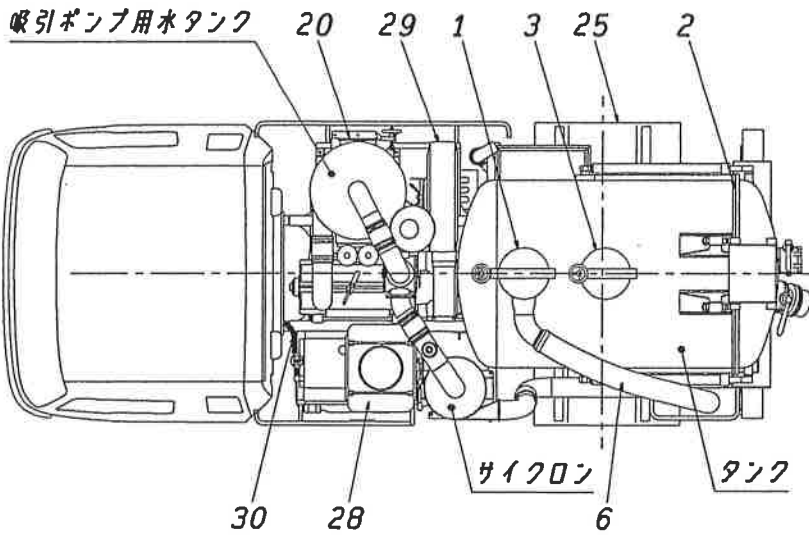
1. 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承ください。
2. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷物質の取り扱い等につきましては、「使用済み商用車架装物解体マニュアル（株式会社加藤製作所 共通編）」を併せてご覧ください。
3. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。

内 容

1. 吸引車架装物の構造概要図
2. 吸引車架装物の解体マニュアル
3. お問い合わせ窓口

株式会社 加藤製作所

1. 吸引車架装物の構造概要図

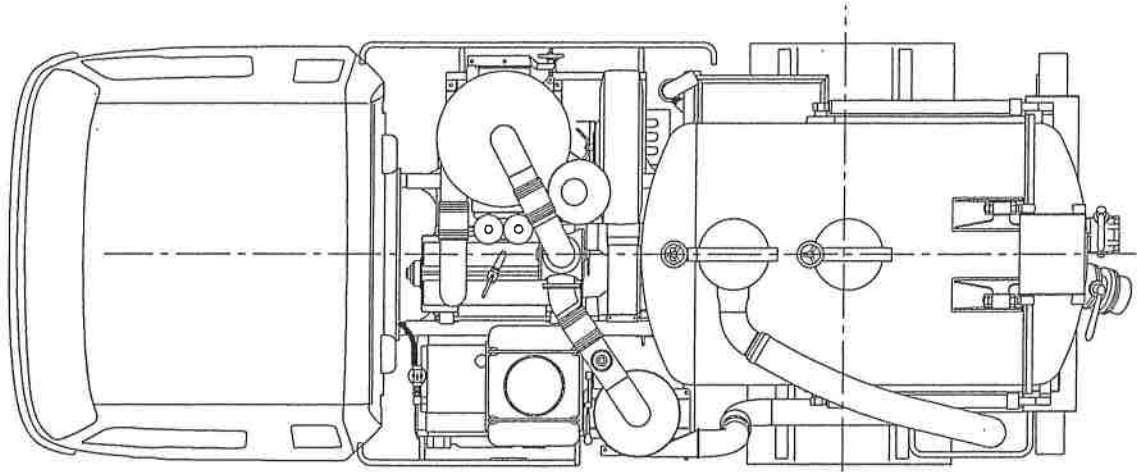


品目 番号	品目名	品目 番号	品目名	品目 番号	品目名
1	満量装置	12	駆動伝達Vベルト	23	リヤバンパー
2	ハッチパッキン	13	油圧シリンダ	24	清掃口
3	点検口	14	油タンク	25	フェンダー
4	ハールフ	15	油圧ポンプ	26	ホース収納具
5	ハッチロック	16	油圧切替弁	27	締結具
6	連結用ホース	17	油圧ホース	28	外装部品
7	当り板	18	操作盤	29	スペアタイヤキャリア
8	シュート	19	空気配管	30	ワイヤコントロール
9	吸引ポンプ	20	清掃口		
10	軸受け	21	バルブ(切換用)		
11	駆動伝達ジョイント	22	バルブ(ドレン)		

2. 吸引車架装物解体マニュアル

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ	タンク内積載物の残物の洗浄、清掃処理を専門業者にて実施する。	
	事前処理Ⅱ	吸引ポンプ及び油圧シリンダ、油圧ホース、油タンク等の油を抜き取り、廃油は専門業者にて処理する。	[油量] 小・中型は 約50L 大型は 約75L
	事前処理Ⅲ	主要な外装部品を取り外す。	
車両全体	架装物	締結具等のボルトを取り外し、シャシと架装物を切り離す。	シャシ側とつながっている伝達ジョイントを切り離す。
架装物	タンク本体	溶断、切削等により裁断し、材料により分別する。	
架装物	吸引ポンプ用水タンク本体	同上	ドレン等から残液を抜く。
架装物	サイクロン	同上	
架装物	サブフレーム本体	同上	
1	満量装置	金属類とゴム類、樹脂類に分別する。	
2	ハッチパッキン	取り外し、ゴム類に分別する。	
3	点検口	金属類とゴム類に分別する。	
4	バルブ	同上	
5	ハッチロック	取り外し、分別する。	
6	連結用ホース	金属類とゴム類に分別する。	引火に注意する。
7	当たり板	取り外し、分別する。	
8	シュート	同上	
9	吸引ポンプ	金属類と非金属類、ゴム類に分別する。	ドレン等から残液を抜く。
10	軸受け	金属類とゴム類に分別する。	
11	駆動伝達ジョイント	取り外し、分別する。	
12	駆動伝達Vベルト	同上	
13	油圧シリンダ	金属類とゴム類に分別する。	取り外して、油を抜く。
14	油タンク	同上	ドレンから油を抜く。
15	油圧ポンプ	同上	取り外して、油を抜く。
16	油圧切換弁	同上	取り外して、油を抜く。
17	油圧ホース	同上	取り外して、油を抜く。
18	操作盤	金属類とゴム類、樹脂類、ガラス類に分別する。	
19	空気配管	金属類とゴム類、樹脂類に分別する。	
20	清掃口	金属類とゴム類に分別する。	
21	バルブ (切換用)	金属類とゴム類、樹脂類に分別する。	
22	バルブ (ドレン)	同上	
23	リヤバンパー	非金属類とゴム類に分別する。	
24	清掃口	金属類とゴム類に分別する。	
25	フェンダー	取り外し、分別する。	
26	ホース収納具	同上	
27	締結具	同上	
28	外装部品	同上	
29	スペアタイヤキャリア	同上	
30	ワイヤコントロール	金属類とゴム類、樹脂類に分別する。	

事前処理 Ⅱ 図

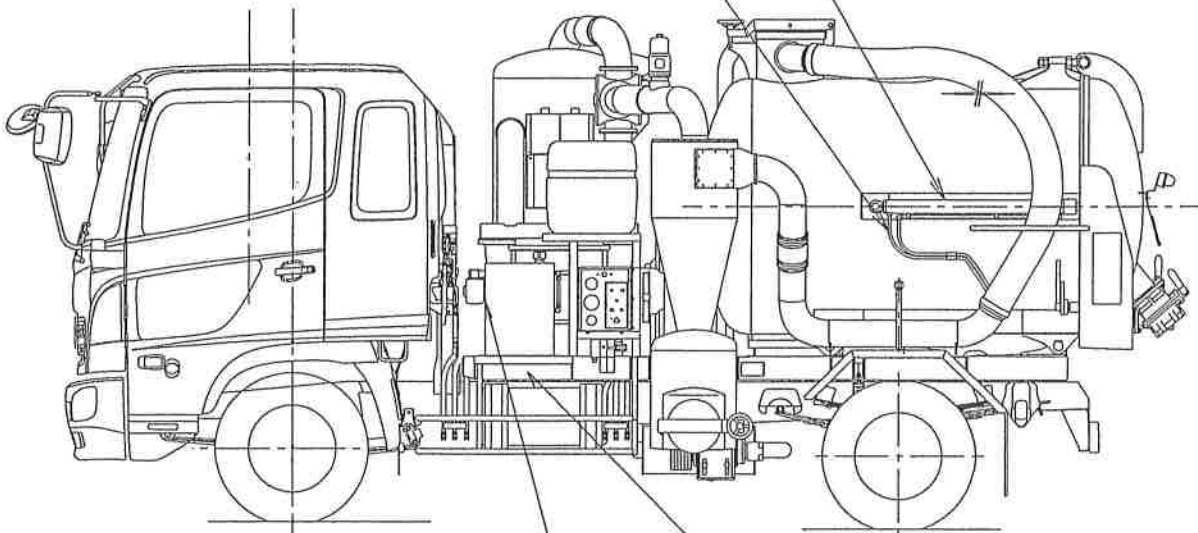


油圧シリンダ
(タンク下方にも有り)

油圧ホース

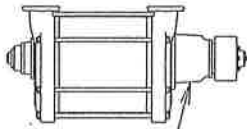
油圧ホースや油圧シリンダ等については
部品を取り外してから油を抜き取る。

(タンク下方にも有り)



吸引ポンプ

吸引ポンプギヤボックスの
ドレンプラグを外し
油を抜き取る。



ドレンプラグ

油タンク

油タンクのドレンコックを開けて
油を抜き取る。

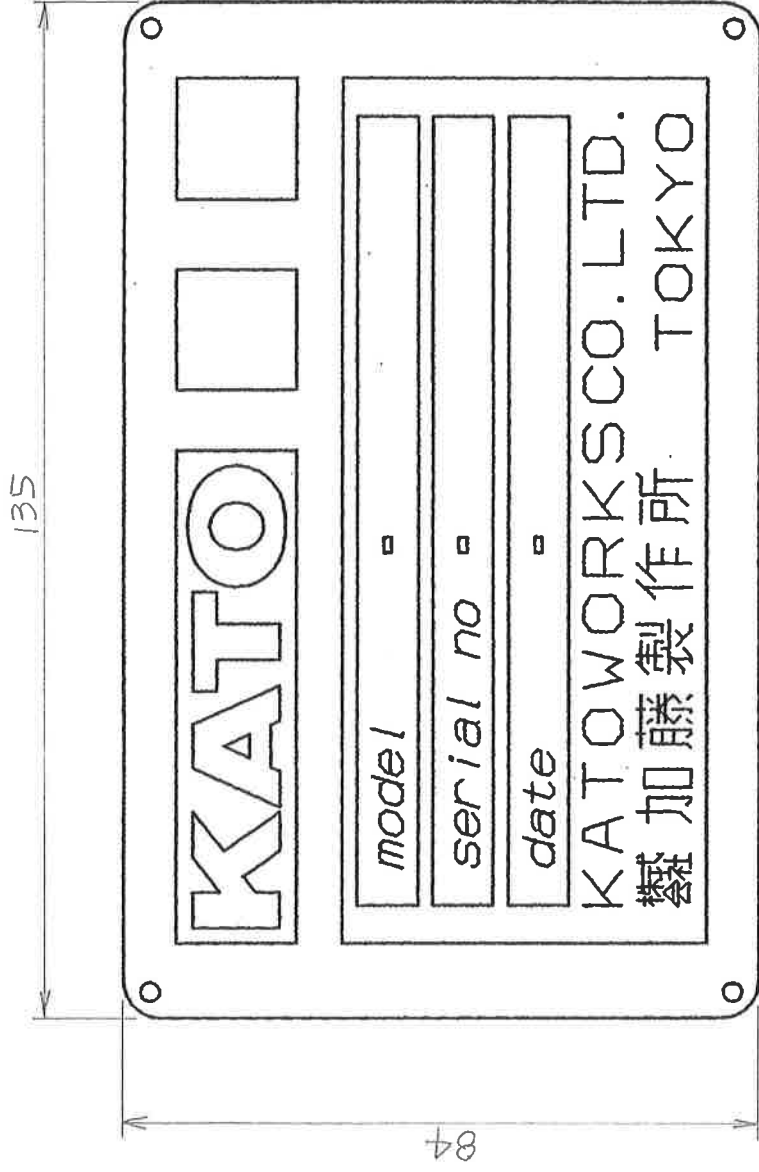


ドレンコック

3. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルに関しまして、お問い合わせ事項がございましたら下記までお願い致します。

製造社名(架装物)=貼付)



使用材料名 (架装物に貼付)

80

50

架装物名称	材質
満量装置(ボール)	ポリエチレン
空気配管(ホース)	ポリ塩化ビニル
外装部品(水タンク)	ポリエチレン
ワイヤコントロール(本体)	ポリホルムアルデヒド

016-75042301